

私の好きな日本のことば ——私からあなたへのメッセージ

閩江学院 何海麗

私は日本語が特別な芸術だと思います。私の一番好きな言葉は「ありがとうございます」です。非常に簡単な言葉だが、私に大きなパワーをくれました。

実はこのことばは誰でも分かるが、言う人は少ないです。人に何かしてもらうときに、お礼を言うのは当たり前だが、私たちはなぜかあまり言わないようです。例えば、サービスをいただいたデパートの店員さんや、レストランのウェーターさん、町の清掃員さんなどには、私たちはほとんどお礼を言わないでしょうね。逆に、自分の好きなものを買ったら、自分の好きな料理を注文したら、ゴミをゴミ箱に入れたら、必ず向こうから「ありがとうございます」と言われますね。「ありがとう」と言われたときのうれしさは皆覚えていますか。でも、なぜ、私たちは言わないのでしょうか。

私には、こんな経験があります。

ある日、先生と一緒に日本人が経営するレストランに食事に行きました。ウェーターさんの態度はとてもよかったです。注文が終わったら、ウェーターさんは丁寧に「ありがとうございます」と言ってくれました。食事が終わり、レストランを出たら、ウェーターさんはまた「ありがとうございました」と言いながら、お辞儀をしてくれました。お客様は神様だという日本式サービスを受けたのは初めてなのか、私はとても感動しました。

ウェーターさんのサービスを受けた私も「ありがとう」と言うべきだと思うが、私は何も言いませんでした。美味しいご馳走を食べ、心地よいサービスを受けた代わりに、私は感謝の言葉を一つも言いませんでした。

その後、先生と一緒にタクシーで学校に帰りました。タクシーを降りたら、先生は学んだばかりの中国語で運転手さんに『シェシェ』とお礼を言いました。でも運転手さんは何も返事をしませんでした。なんだ、「ありがとう」とか「どういたしまして」とかと返事はくれないのかと、私はちょっと不愉快でした。日本料理屋にいた時の気持ちを思い出した。そうか、「ありがとう」一言で世界を変えたのか。

この小さな経験で私はますます「ありがとう」という言葉が好きになりました。

日本のサービス業界ではお客様への礼儀正しさを重視しているそうです。社員教育では、敬語の使い方やお客様への対応などは非常に重要な部分だそうです。だから、「ありがとうございます」など、感謝の言葉は自然に口にするのでしょうか。

しかし、私たち自分の場合はどうですか。大事に育ててくれた両親に「ありがとう」をたくさん言いましたか。いろいろなことを教えてくれた先生たちにたくさん「ありがとう」を言いましたか。いつもそばにいてくれる友達にはたくさん「ありがとう」を言いましたか。いいえ、そうでもないような気がします。でも日本のドラマを見たら、家族の間でも、親友の間でもたくさんの「ありがとう」が聞こえます。

「ありがとう」とは人に対する感謝だけではなく、人の自分への好意と愛情が分かっているとも意味しています。人の努力に対する尊敬とも意味しています。その理解と尊敬を常に覚えなさいといけません。その理解と尊敬を常に「ありがとう」と変えて、大きな声で言わないといけません。なぜなら、「ありがとう」という言葉は世界をやさしく、美しくする魔法があるのです。

だから、私は日本語でたくさん使われている、この地味そうな「ありがとう」という言葉が大好きです。私はこの言葉からいただいた力をもっとたくさんの人に渡したいです。たくさん「ありがとう」を言って、自分の周りの世界をやさしく美しくしたいのです。